



▲カウアイ島へのはがきを投函する東和小学校2年生の児童



▲地元のフラチームによるフラの披露

カウアイ島姉妹島縁組 60周年記念式典を開催

6月22日、カウアイ島姉妹島縁組60周年記念式典が道の駅サザンセトとうわで開催されました。

式典では、国際交流に係る功労者への感謝状の贈呈、60周年を記念して作成されたラッピングポストのお披露目やフラの披露などがありました。

ハワイをイメージしたラッピングポストには、次世代を担う本町の子どもたちからカウアイ島の子ども達へ、周防大島の良いところを伝えたいという想いから、特産のみかんやニホンアワサングなどの絵を書いたはがきが投函されました。

周防大島は、1963年6月22日にハワイ州カウアイ島と姉妹島縁組を結び、両島の首長や島民間の交流をはじめ、文化、産業、スポーツ交流など、さまざまな交流を行ってきています。10月には、カウアイ島においても、カワカミ郡長と藤本町長が出席する60周年記念式典が開催される予定となっています。

なむでん踊りの奉納

6月24日、五穀豊穡と疫病退散を願い「久賀のなむでん踊り」の奉納が久屋寺で行われました。

山口県指定無形民俗文化財である「久賀のなむでん踊り」は、江戸時代から続く虫送り行事です。

久賀のなむでん踊り保存会の藤井俊司会長は、「久賀のなむでん踊りを続けていき、若い世代に受け継いでいきたい」と話しました。



▲久賀のなむでん踊りの奉納の様子



▲扇風機の風を受けて進むヨットを体験する子ども達

OPヨットを体験!

6月24日、B & G 海洋センタープールでセーリングの入門艇であるOPディンギーと呼ばれる小型ヨットの体験会が行われ、小学生29人の参加がありました。

はじめに「水辺の安全教室」が行われ、水辺で活動するときに気を付けることや、事故が起こったときの対処方法などを学びました。

その後、子ども達は実際にヨットに乗り、大型の扇風機で起こした風を帆に受け、舵を動かしながら、どのような仕組みでヨットが風を受けて進むのかを、楽しみながら学びました。また、マリンスポーツのカヌーやSUPの体験も行われました。